

日本共産党議員団、区民要望実現に奮闘!

9月11日から10月9日まで港区議会第3回定例会が開かれました。今定例会では2013年度の決算審議も行われました。「区民アンケート」で寄せられた区民の声を国政・区政に生かすため奮闘しました。



要望書を提出する党議員団と港地区委員会

特養ホームの増設など164項目 来年度予算要望書提出

9月22日、共産党港区議員団と港地区委員会は、来年度の予算要望書を区長に提出しました。

4月から消費税が8%になり、個人消費が過去最大の落ち込みになっているだけに、区民の生活と暮らし、営業を守るための区の役割が重要です。

特養ホームの増設、幼稚園での3才児保育実施園の拡大、公契約条例の早期制定など164項目の要望を提出しました。



「がけ」「よう壁」の

耐震化助成を

港区には急傾斜地崩壊危険箇所が118カ所。その中で、「地震や大雨により、がけ崩れの恐れがある」と指摘されている安定度の低い急傾斜地が17カ所。にもかかわらず「がけ・よう壁の対策」は、「斜面の改修・保護に努める」というだけです。

がけ崩れを予防するためには大規模な改修が必要で、そのために多額の資金が必要です。港区では「がけ等整備支援事業」として利子の一部補助を行っていますが、実績はゼロです。

区民の生命と財産を守るために、急傾斜地の規模にふさわしい改修工事助成制度を求めましたが、「支援策を調査・研究していく」との答弁です。
引き続き解決策を求めていきます。

階段の手すりを改修



れました。

昨年7月のバリアフリー基本構想協議会で、視覚障害者から区役所の階段が危険との指摘を受けていたにもかかわらず、区は11カ月以上も放置。共産党議員が6月5日の委員会で取り上げ、続く6月の本会議でも取り上げ、実現したものです。

区役所1階の階段手すりと段鼻(だんばな)が改修されました。

視覚障害者の指摘を受け、共産党議員団が議会で取り上げ、このほど改修さ

区はすべての施設を調査した結果、4カ所で改修が必要なことが明らかになり、一カ所を除き、すでに工事が完了しました。

「集団的自衛権容認の閣議決定撤回を」の請願

日本共産党以外の与党が「継続審議」に

「集団的自衛権行使容認の閣議決定の撤回を求める請願」が、「みなと・9条の会」など3団体から提出され、日本共産党4人全員と1人会派の議員が紹介議員になりました。社民党議員は「行使容認絶対反対」(港区政新聞9月10日付)といいながら紹介議員になりませんでした。

審議が行われた総務委員会では、共産党委員が、前回6月の請願審議時における自民・公明党委員の発言を元に討論を提起しましたが、「いきなり討論するといっても、正確にそういったか、一回記録を見て」などと無責任な態度に終始し、委員長(港政策ク

ラブ)も、「今回の討論は急な話なので私は認められない」などと自由な討論を抑えました。

委員会での討論の事前通告制はなく、言論の府である議会の自由な発言を抑えていくことはあってはならないことです。

「海外で戦争できる国」にさせないために、議会内外での反対世論をさらに広げるために奮闘します。

10月19日現在、意見書を可決した議会は、224議会です。



協力ありがとうございました

市民の意見・要求をもとに区長・教育長に解決を迫る

6月～8月にかけて党議員団が取り組んだ「港区民アンケート」には、みなさんからたくさんのお返事が寄せられました。ご協力ありがとうございました。

第3回定例会では、アンケートに寄せられた、意見・要求を中心に取り上げ、区長・教育長に解決を迫りました。

消費税増税

質問

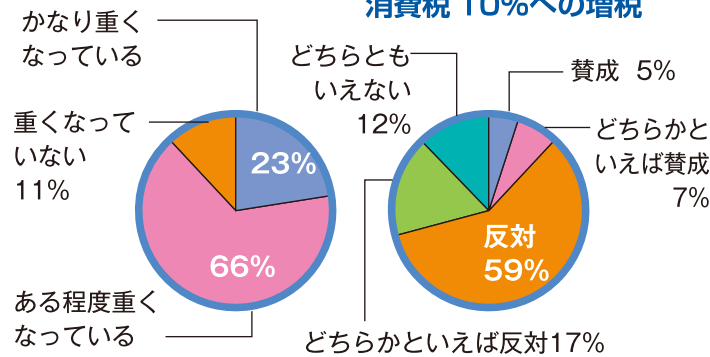
4月から消費税の8%増税実施により、くらしや営業への負担が「かなり重くなっている」「ある程度重くなっている」を合わせるとほぼ9割、ほとんどの区民が負担に感じている。区内の中小企業の景況調査でも小売業、飲食店、製造業などで「悪影響」の割合が半数以上。10%への増税実施に「反対」「どちらかといえば反対」が76%です。区長は、「実施中止」を国に申し入れるべきです。

答弁

国に申し入れることは考えていない。

消費税増税の負担は？

消費税10%への増税



原発再稼働

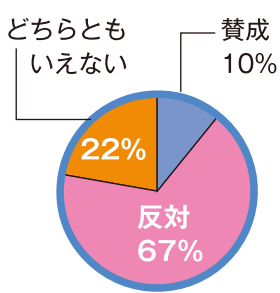
質問

猛暑の夏も「原発ゼロ」で電力不足なく乗り切りました。福井、福島両地裁では原発と私たちの社会が共存できないことを示す判決が下されました。区民の意志は原発再稼働に67%が反対です。原発の再稼働反対、原発からの撤退を国に要請すべきです。

答弁

エネルギー政策は国の責任で取り組むべき。国に要請することは考えていない。

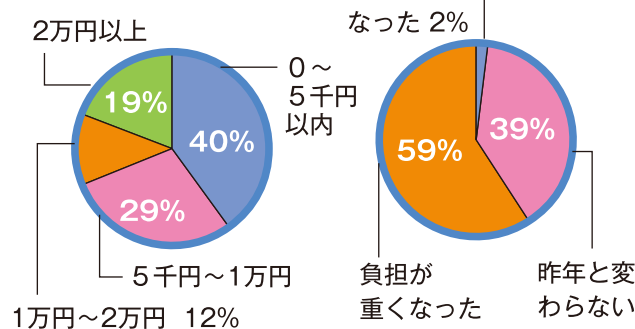
原発再稼働



医療・介護保険

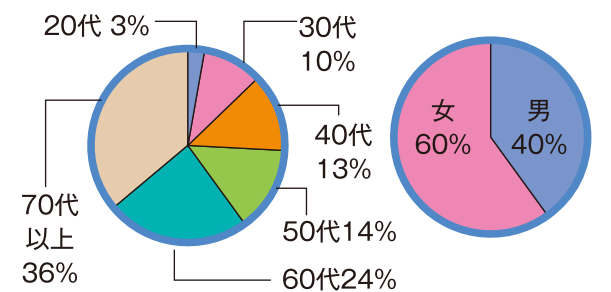
医療・介護保険料の負担

増えた金額



回答者の世代別内訳

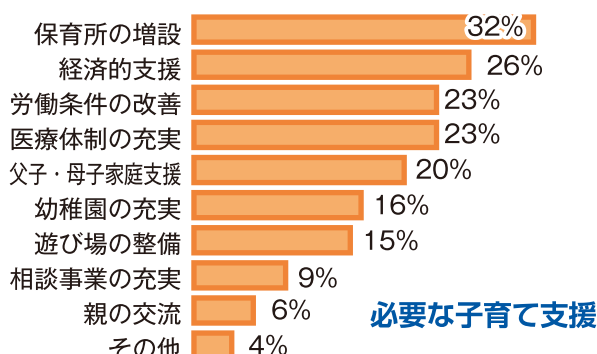
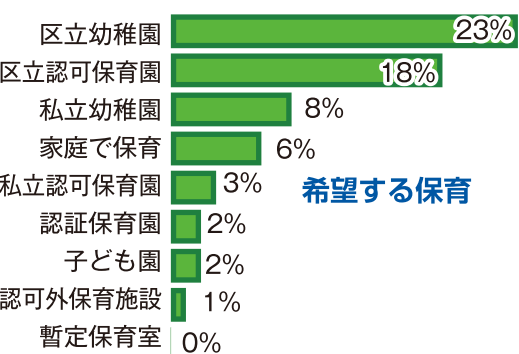
回答者の性別内訳



入所者の食費・居住費の軽減策を続けること。

区立認可保育園の建設

子育て・教育問題



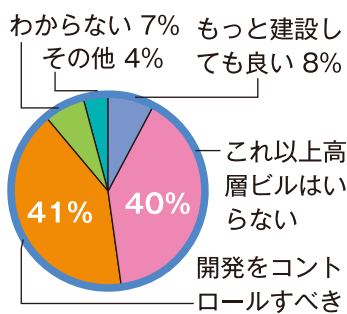
消への取り組みなどを求めました。

①区立認可保育園の建設計画をたてること。②私立認可保育園から要請されている幼稚園の園庭やプールの使用提供、区の施設の利用に答えること。③緊急暫定保育室は、可能なところから区立認可園にすること。④都有地・国有地などの活用を行うこと。

答弁

国が定めた都市再生緊急整備地域や、東京都が定めた複合市街地ゾーンとなる東部エリアは導入しない。市街地再開発事業で土地の高度利用を図る都市計画を定める場合には導入しない。

再開発による超高層ビルの建設



区は住環境を守るために「絶対高さ制限」を導入するといいつながら、東部地区を対象外にしています。本当に住環境を守るのであれば、東部地区や市街地再開発事業なども対象にすべきです。また老朽化マンションの建て替えも大きな問題です。居住者の立場に立った支援等をすべきです。

◆新橋地区。高輪白金地区は高層ビルが屏風となって海上からの風がさえぎられてくる。(70代男年金生活)

◆高層ビルを規制し、緑が多く光と風があふれる街にしてほしい。(30代男正規社員)

◆大切な税金をもっと社会福祉に使ってほしい。(20代女学生)

「港区民アンケート」ご協力

こういうアンケートをしてくれるということ自体感動です。頑張ってください。(30代 女 専業主婦)

区民の意見

党区議団の提案で

10カ所の緊急暫定保育室が開設

2006年10月4日 決算委員会での質問

待機児童解消のため、建替えのために使っている仮設保育園を継続して使用すること。

区長答弁

他の利用計画などの課題もあり、問題点を整理します。

2006年10月23日 助役以下担当理事者に申し入れ

本園の建替えのため仮設として使用している飯倉保育園、南青山保育園の仮園舎を、暫定保育園として使用するよう申し入れ。

助役の発言(要旨)

待機児童が多いことは深刻に受けとめている。ご提案の方向で検討する。

2006年 第4回定例会本会議質問

飯倉保育園、南青山保育園、赤坂保育園の仮園舎の継続使用について、早急に地元とも相談し、実施すること。

区長答弁

飯倉については、緊急対策的な保育施設としての活用を現在検討しています。

運動が大きな力に

飯倉小学校跡地の(仮設)保育園を引き続き「保育施設として利用する」要望が区長に提出されたり、議会への請願など、地元の運動が開設の力となりました。

2007年第1回定例会区長所信表明

緊急・暫定的な措置として、旧飯倉小学校跡地を活用した新たな保育サービスを提供してまいります。

保育園等の施設数及び定員について(港区子ども家庭支援部資料)(各年度4月1日現在)

区分	平成26年度		平成19年度		比較	
	施設数	定員(人)	施設数	定員(人)	施設数	定員(人)
認可保育園	40	3,520	20	2,019	20	1,501
区立認可保育園	18	2,250	16	1,794	2	456
私立認可保育園	22	1,270	4	225	18	1,045
緊急暫定保育施設	10	1,417			10	1,417
認証保育所	22	790	13	392	9	398
合計	72	5,727	33	2,411	39	3,316

※緊急暫定保育施設の東麻布保育室は、平成19年10月22日に開設しています。

決が下されました。区民の意志は原発再稼働に67%が反対です。原発の再稼働反対、原発からの撤退を国に要請すべきです。

医療・介護保険

質問

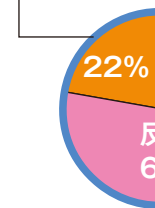
政府は、介護保険制度の大改善を実施しようとしている。①要支援者を介護保険から外そうとしているが、重症化を防ぐためにサードビス低下をさせないこと。②一定以上所得者が利用者負担増にならないよう区の施策を。③待機者に見合った特養ホームの計画をつくること。④介護施設等の

答弁

入所者の食費・居住費の軽減策を続けること。①今年度策定する介護保険事業計画の中で、地域の実情に応じたサードビスを示す。②区としての負担軽減策は考えていない。③入所申込者数等の動向、さらなる施設整備を視野に入れながら検討する。④区としての負担軽減策は考えていない。

原発再

どちらともいえない



区立認可保育園の建設

質問

アンケートでは「必要子育て支援」に最も多かったのが保育所の増設でした。公立の認可保育園の増設を求めました。また、待機児童対策のため多くの私立認可園が開設されましたが、保育環境の格差が新たな課題となっており、解

医療費の負担が重くなるとのこと、3割負担は生活に重くのしかかります。(70代以上女専業主婦)

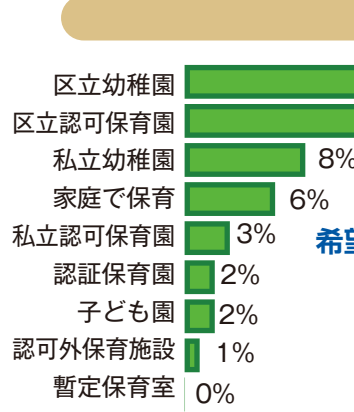
緊急暫定保育室を認可園に

2007年に旧飯倉小学校跡地に緊急暫定「東麻布保育室」が誕生してから、2014年4月現在、10施設1,417名の園児が利用しています。待機児童解消に大きな役割を担っています。

緊急暫定保育室は、港区独自の基準に基づく保育園で、委託期間が5年と短いので、保育士にとっても、安定した職場

にはなっていません。条件の整っている園から区立認可保育園にするよう求めました。区は、様々な視点から、緊急暫定保育室のあり方について検討すると答弁しました。

ビルの2階3階を使った私立の認可保育園が増え、園庭やプール遊びの場所のない認可保育園が増えていきます。引き続き保育環境の改善に取り組んでいきます。

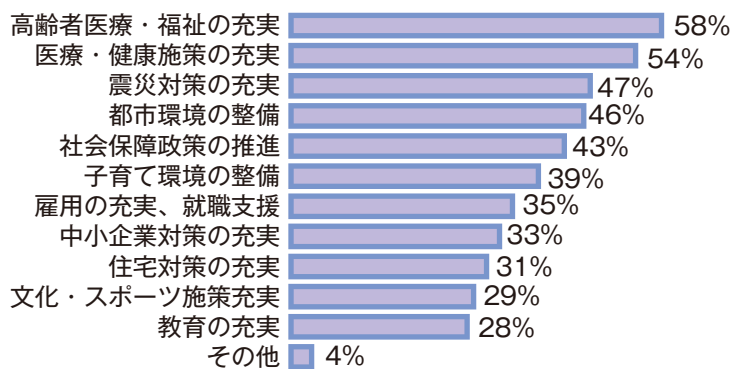


まちづくり

質問

アンケートでは「これ以上高層ビルはほしくない」「開発をコントロールすべき」を合わせ8割超、圧倒的な区民がこれ以上超高層ビルは「ノー」です。

明確に示された区民の要求



答弁

地元地権者の保護の観点から今後も補助金は必要と考えている。

質問

大企業の市街地再開発への補助金支出については、3人に2人が「補助金支出はやめるべき」と答えています。「再開発は住民のためではなく大企業や投資家のもうけのためだ」「福祉、高齢者、介護に回してほしい」などの意見が寄せられている。市街地再開発事業への補助金支出はやめること。

「補助金をやめよ」が区民の声

高層ビルを規制し、緑が多く光と風があふれる街にしてほしい。(30代男正規社員) 大切な税金をもっと社会福祉に使ってほしい。(20代女学生)

港区で寡婦（夫）控除の「みなし適用」

来年4月から実施

9月11日の本会議で区長は「寡婦（夫）控除の『みなし適用』を来年4月実施にむけ検討」と答弁しました。共産党区議団の代表質問に答えたものです。同じ一人親でありながら、未婚の一人親の場合、「寡婦（夫）控除」がないため保育料や住宅使用料等が高くなります。

実施を求めてきました。6月の第2回定例会では他党も代表質問で取り上げるなど、区議会内でも実施を求める声がひろがってきたことが、実施の決断をさせることになったものです。

党区議団は一貫して「みなし適用」の早期



小規模企業者への支援の強化を

6月に成立した小規模企業振興基本法では、国・地方公共団体が小規模企業を支援することを規定しています。二万数千者といわれる区内の小規模企業者（従業員20人以下。商業・サービス業は5人以下）の実態を把握するため、全事業者調査を行うよう求めました。また、区有施設の建設などに際しても、できる限り分割発注し小規模企業者に優先するよう質問しました。

区は「全数把握は困難」「区が把握しているのは約4千企業者で、巡回相談員が訪問し支援している」として、2割の企業者以外には支援の手が差しのべられていない現状を打開する意志を示しませんでした。また、「区内事業者



に限定する指名競争入札や工事の適切な分離・分割発注を行うなどの措置を講じている」と答弁しましたが、小規模企業者からは「区の仕事が回ってこない」という声が寄せられています。

請願6件を採択

「固定資産税及び都市計画税の軽減措置についての請願」、「ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成に関する請願」、「喫煙による迷惑の防止条例に関する請願」、「泉岳寺隣接マンション建設計画に関する請願」、「公私立幼稚園格差解消に関する請願」、高次脳機能障がい者の未来を紡ぐ会から提出された請願が採択されました。

泉岳寺の歴史的文化的文化財、景観を守れ

国指定史跡・泉岳寺隣接マンションに反対する請願：全会一致で採択

泉岳寺中門隣りに8階建、23メートルものマンション計画が進んでいます。「国指定史跡・泉岳寺の歴史的文化的財を守る会」と泉岳寺（賛同者）は、「マンション計画は」国指定史跡・泉岳寺に隣接しており、港区の登録文化財にもなっている泉岳寺中門の隣りにそぐわないもの。周辺住民として港区民として、大切な文化財の隣りのこのような建設計画には断固反対」との請願が提出されました。

建設委員会では請願者から補足説明を受け、審議した結果、全員一致で

採択。本会議でも全会一致で可決しました。



観光課の設置を

党区議団は、2004年の第1回定例会以降、豊富な観光資源を生かして集客力を飛躍的に高めるうえで、観光課を設置し体制を強化すべ

きと繰り返し求めてきました。

今決算委員会でも観光課の設置を求めましたが、区長は答えませんでした。

障害者の入所施設の計画を

障害者の入所施設の設置を求める質問に対し、区長は「ご本人の障害状況の悪化や家族の介護力の低下などにより施設入所を必要としている方への対応が課題である」と認める答弁をしています。

どの親も「親亡き後」のことが心配です。障害者が住み慣れた地域で

安心して生活できるよう、入所施設を早急に計画するよう求めました。区は「障害者のニーズに応えるためには、障害者本人及びその家族の将来にわたる生活実態を把握し、区内で必要とされる施設入所枠などについて、調査を行う」と約束しました。早期の実現に向けてみなさんと取り組んでいきます。

北埠頭公園グラウンドの整備を

港南にある北埠頭グラウンドは、子どもたちがサッカーや野球に利用しています。

しかし、試合に支障が出るほど雑草の伸びが速く、度々刈ってはいますが、追いつかない状況です。子どもたちが安心してサッカーや野球ができるように整備するよう質問しました。

教育長は「都と協議するとともに、区としても除草作業の回数拡大など、環境の向上に努める」と答えました。

自転車シェアリング



2カ所ではじまる

10月1日から環状二号線周辺エリアと港南エリアでスタートしました。